

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/01/16号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 需要不安後退で、V字型の切り返し

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル水準までV字型の切り返しを見せる展開になった。年初は世界経済の減速懸念を背景に急落し、1月5日安値は72.46ドルに達していた。しかし、その後は中国経済の正常化期待から石油需要環境に対する過度の悲観的な見通しが後退し、安値修正の動きが優勢になった。また、ロシア産の供給不安が蒸し返されていること、為替がドル安に振れたこともポジティブ材料視された。13日高値は80.11ドルになっている。

中国政府は8日、入国の際の隔離措置を撤廃し、ゼロコロナ政策を終了させた。足元では依然として厳しい感染状況も報告されているが、春節の連休を前に経済活動や日常生活の正常化を急ぐ姿勢を一段と鮮明にしている。こうした動きを受けて、短期的には春節の人流の活発化が輸送用エネルギー需要拡大をもたらすとの見方に加えて、2023年の中国経済の成長見通しが上振れするとの見方も強まり、原油相場も需要見通しの改善から押し目買い優勢の展開になった。

米エネルギー情報局 (EIA) の米石油在庫 (1月6日時点) は、原油が前週比1,896万バレル増、ガソリンが411万バレル増、石油精製品が107万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 需要環境に対する信頼回復が進めば底固い、IEA月報に注目

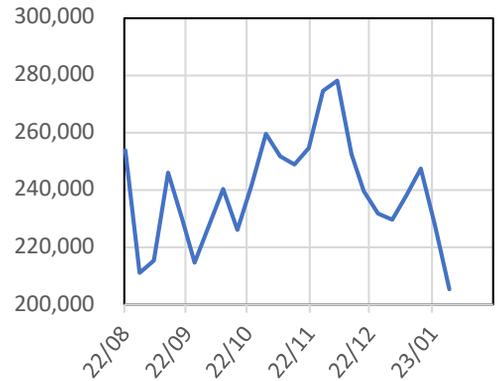
年初はパニック的とも言える急落地合を形成したが、落ち着きを取り戻すフェーズになる。2023年の世界経済の成長鈍化が確実視される状況にあるが、石油需要に関しては堅調な伸びが想定されている。成長鈍化は主に先進国の話であり、石油需要に関しては中国やインド、東南アジア、中東などの新興国を中心に22年程ではないが着実な伸びが想定されている。需要環境に対する信頼感を更に高めるような動きがみられると、70ドル台での底固さを再確認し、80ドル台前半にコアレンジを切り上げる可能性が高まる。

今週は17日に石油輸出国機構（OPEC）、18日に国際エネルギー機関（IEA）が最新の月報を発表する予定になっている。ここで中国経済の正常化期待などから強気の石油需要見通しを示されると、原油相場に対する買い安心感は強まろう。需要環境に対する信頼感を更に高めるような動きがみられるのか、需要不安を蒸し返すようなショックがみられるのかが焦点になる。

一方、ロシア産の供給環境に対する警戒感が高まっていることもポジティブ。昨年12月に西側諸国はロシア産原油に上限価格を設定したが、その影響で供給に混乱が生じている模様だ。2月には石油製品まで制裁対象を広げる計画だが、一方でロシアは上限価格設定の動きに対して報復を行うと警告しており、具体案の策定に入っている。ロシア産の供給を巡る混乱などが伝わると、原油相場の地合は一段と引き締めやすくなる。

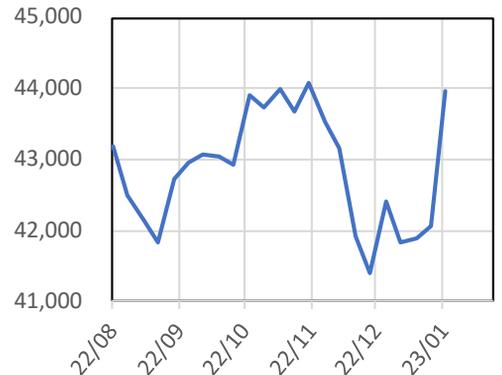
また、米インフレ環境・見通しの改善でドル安傾向が強くなっていることも、ドル建て原油相場の下値をサポートする。更にドル安が進むかにも注目したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

